

平成29年度

事業報告

【重点項目】

- 1 地域住民に選ばれ、利用者に喜ばれる施設にする。
- 2 誇りを持てる職場にする。
- 3 経営基盤の安定化を図る。

社会福祉法人おおぎだ

目 次

平成29年度社会福祉法人おおぎだ事業報告

事務局.....p1

各事業所別事業報告

特別養護老人ホームローズヒル(従来型・ユニット型)p5

短期入所生活介護(ショートステイサービス)p7

茂呂デイサービスセンターp8

美茂呂デイサービスセンターp9

ケアハウス菜の花p10

茂呂ヘルプサービスセンターp11

茂呂居宅介護支援事業所p12

厨房部門p13

事務局概要報告

地域住民に選ばれ、利用者に喜ばれる施設にする。

平成 29 年度は、社会福祉法改正に伴い新役員により理事会、評議員会が開催されました。社会福祉充実残額が認められたため、社会福祉充実計画を策定しました。今後も計画の進捗を確認し、地域の福祉ニーズ等を踏まえつつ、当該残額を計画的かつ有効に再投下していきます。「地域への公益的取り組み」では、ミニデイサービスへの支援活動が行われた。

誇りを持てる職場にする。

社会福祉法人経営労務管理支援事業により、利用者の満足度の向上と職員の働きがいのある職場を目指すため、社会福祉法人おおぎだのミッションを策定しました。今後も「生きがいサポートプロジェクト」として、チームごとに各課題について研究し、自ら進んで課題を解決できる組織に醸成し、ミッションを実践していきたいと考えています。

経営基盤の安定化を図る。

労働市場の変動に伴い求人活動を容易化するために、看護師の給与の変更、夜勤専門者について給与の変更、登録型ヘルパーの給与の変更を行いました。また、従来型夜勤の負担を減らす取り組みとして、2 名体制から 3 名体制に夜勤体制の変更を行うことで、給与だけでなく職場環境においても働きやすい職場を目指しています。一方で、人件費の増加が目立ち、対前年と比較しても 3,000 万円程度の増加となり、業務改善が早急の課題となっています。

1 理事会・評議員会

(1) 役員数

理事6人、評議員 8 人、監事 2 人

(2) 開催

定例理事会開催（5 月、10 月、3 月）、臨時理事会開催（6 月、7 月）

定例評議員会を開催（6 月）

2 施設運営管理

(1) 建物

厨房地下漏水除去、ユニット 2 階床材張り替え、従来型ラウンジ西側更新
デイろ過機配管洗浄、床ワックス材除去、1階ラウンジ天井張り替え、
エレベーター床材張り替え、発電機電池交換、美茂呂デイトイレ修繕

(2) 運営会議 2 回開催

理事会報告

(3) 法令管理体制委員会 1 回開催

(4) 管理者会議 20 回開催

職員処遇、求人関係、規程の改正、役員会・評議員会開催準備、制度の対応、
予算関係、研修関係

3 予算・事業計画管理

(1) 月次報告

(2) コスト委員会 4回開催

光熱費、消耗費、環境整備の検討

4 人事・組織管理・人材育成

(1) 平成30年4月1日現在の職員数 総数 115人

	特養(短期含む)		ケアハウス		訪問介護		茂呂デイサービス		美茂呂デイサービス		居宅介護支援事業	
	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤
施設長 (管理者)	1 2(統括)		(1)		(1)		1(統括)				1	
副施設長		1										
医師		(1)										
生活相談員	1	(1)	1				1		1			
サービス提供責任者					1	1						
介護職員	52	13	1				2	3	3	2		
看護職員	6	1					2		1	1		
訪問介護員						5						
介護支援専門員	2										2	
機能訓練指導員	(1)											
管理栄養士	1											
事務員	2	2										
合計	67	17	2		1	6	7	3	6	3	3	

注1) ()書きは兼務職員を再掲していることを示しています。

注2) 常勤職員とは、所定の時間(週32時間以上)を勤務する職員を指します。

(2) 入・退職状況

	職員	専門職準職員	一般準職員	嘱託	合計
入職者	12	0	3	0	15人
退職者	11	0	2	0	13人

(3) 学生アルバイトからの入職者は0人であった。

(4) 評価レベルシートの変更と作成を行う。

5 自己研修 各事業所の報告による。

6 防災対策

- (1) 防災委員会2回開催、研修会1回開催
- (2) 消防訓練 9月昼想定、3月夜想定実施
- (3) 建築物、建物の点検(自主点検)実施 9月、3月

7 施設・設備維持管理

- (1) 業務委託見直し 随時
- (2) 空調・ボイラー設備点検 12月
- (3) 全館定期清掃 12月
- (4) 受水槽・水質検査点検 5月実施
- (5) 厨房害虫調査 毎月実施

8 安全衛生

- (1) 感染対策・事故防止委員会開催 各事業所報告による。
- (2) 安全衛生委員会2回開催、職場巡視 8回実施
- (3) 浴槽ろ過装置点検実施 10月
- (4) 浴槽水質検査実施 5月
- (5) 職員健康診断実施 4月(夜勤者)、10月全職員
- (6) ストレスチェック実施 9月

9 サービスの向上

- (1) 連携会議12回開催
利用空き情報、事業所間の情報交換と業務改善提案、地域や家族の情報交換、月次報告
- (2) 生きがいサポートプロジェクト実施
管理者チーム会議7回開催 (11月発表)
施設・居宅チーム 6回開催 (2月発表)
- (3) 苦情改善委員会

会議開催	2回 (6月、3月)
苦情受付	3件 ・ショートの利用の為送ってきたが、事務の人の対応が親切でなかった。 ・電話対応が良くなかった。 ・ショート利用中熱が出た。傷が増えることもある。心配で仕方ない。
皆様の声	1件 ・ホールや廊下は涼しいが、ベットの部屋は暑いです。オムツをされていて可哀そう。

10 地域福祉関係

(1) 入所家族に関する事項

ローズヒル・短期入所者への面会状況

年 度	入所者の定員	年間	月平均
平成 27 年度	130 人	5,025 人	418 人
平成 28 年度	130 人	4,771 人	397 人
平成 29 年度	130 人	5,168 人	430 人

(2) ボランティア状況 (慰問等は各部門の報告による。)

年 度	個 人	団 体
平成 27 年度	13 人	5 組
平成 28 年度	15 人	5 組
平成 29 年度	15 人	5 組

意見交換会と感謝会実施 3 月

(3) 広報委員会10回開催

おおぎだより19号、20号発行

ホームページリニューアル済み

パンフレット完成

11 福利厚生

(1) 親睦会 補助支給 1 人 6,000 円× 103 人分

会議4回開催

総会・食事会、日帰り旅行(浅草方面)実施38名参加、クリスマスケーキ配布

新年会開催、研修会開催、慶弔関係支払

(2) 10 年表彰・アイデア表彰・職員紹介

	10 年表彰者	アイデア提案表彰者	職員紹介者
27 年度	6 人(特養 5、居宅1)		
28 年度	8 人(特養 8)	5 人(特養 4、デイ1)	1 人(デイ1)
29 年度	4 人(特養 2、デイ1、居宅1)	4 人(特養 4)	1 人(特養 1)

特別養護老人ホームローズヒル（従来型・ユニット型）

1 「今」を大切に当たり前の暮らしの実現の基本方針のもと、施設内外、多くの行事が行なわれました。

2 【おおぎだ重点項目に沿った目標】

(1) 地域住民に選ばれ、利用者に喜ばれる施設にする。

- ① 1丁目から10丁目までそれぞれに、ユニットごとの目標やテーマができ、それをもとに飾り付けや、行事など行うことができました。1丁目、おやつ作り、4丁目、マイバースデイ 5丁目かき氷、花火大会、夢を叶える企画、6丁目買い物、花の栽培、コスモス見学やおはぎ作り、7丁目焼きたてのパンが食べたい企画、居酒屋、8、9丁目うめジュース作りや酉の市、10丁目ジャガイモ作り、アロママッサージなど、それぞれのユニットごとに、特色ある取り組みが行われ、皆さんの生きがい作りをサポートできました。
- ② 第一中学校2年生を職場体験学習で8名受け入れ、福祉の仕事を体験していただくことができ、今後、若い人たちが、福祉の仕事に携わって行けるようないい機会でした。消防訓練においても、地域、外部の方16名が参加していただき、防災時の協力体制を構築することができました。
- ③ 毎年恒例のいちご狩りや、毎月の誕生日会、従来、ユニットそれぞれの秋祭りでは、多くのご家族が参加できる機会を作ることができました。敬老会では去年に続き、職員劇団による寸劇「水戸黄門」披露され大変、好評でした。ユニット型では、文化祭行われ、利用者が書いた書や多くの作品が展示され、施設内外より多くの方が見学に訪れました。

(2) 誇りを持てる職場にする。

① 職員研修・人材育成

【合同研修会開催実績】

4月 29年度のおおぎだ変更点周知	5月 「オムツの当て方について」白十字
6月 食中毒、感染予防・中長期計画	7月 「認知症の正しい理解」山口先生
8月 高齢者虐待・事故再発防止	9月 ユニットリーダー発表会
11月 生きがいサポートプロジェクト	12月 感染防止研修会
1月 事故再発防止研修	2月 ユニットリーダー発表・ISP発表

【施設外研修】

・県集団指導 5/24	・看護研究部会研修会 5/17
・生活相談員研修部会 5/31 8/21	・新任職員研修 2名全3回
・「福祉・介護人材定着セミナー」6/8	・中堅職員研修Ⅱ 3名全3回

- ・フォローアップ栄養士研修 10/13
- ・施設ケアマネ研修 11/2 2名
- ・生活相談員研究部会 10/31
- ・食品衛生責任者研修会 2/23

【資格取得】

- ・喀痰吸引研修 2名全10日
- ・介護福祉士国家資格 2名
- 施設内研修参加者延べ 552名
- ・喀痰吸引実地研修 1名全4日
- ・介護支援専門員 1名 19日
- 外部研修参加者延べ 50回

② 実習生受け入れ実績

- ・養成校 9名
- ・特別支援学校新任教諭 4名
- ・介護体験 4名
- 計 17名

③ 有給休暇取得実績

221.5 日/78人 (有給取得日/職員数) 平均 2.8日

(3) 経営基盤の安定化を図る。

- ① ベッド稼働率 従来型 90.1% ユニット型 86.4%
- ② 正看護師を採用により 看護体制加算Ⅱを取得 従来型8単位/日、ユニット型 13単位/日
- ③ 平均介護度 従来型 3.89 ユニット型 3.88 (参考 H29年3月 従 3.77 ヌ 3.83)

【 従 来 】

4/19.26	いちご狩り 「いちごハウス伊藤園」	16名参加
5/7	せせらぎ公園 鯉のぼり見学	10名参加
6/7.14	不二家ミキサー食の方限定 ココス	12名参加
7/26	1丁目おやつ作り（お好み焼き）	15名参加
9/17	敬老会 職員寸劇「水戸黄門」	全員参加
10/1	秋祭り	全員参加
10/26	赤堀 小菊の里見学	7名参加
11/26	運動会	全員参加
12/21	クリスマス会	全員参加
1/1	新年会	全員参加
2/2	2丁目おしるこ作り	15名参加
2/7	1丁目あんみつ作り	15名参加

その他 毎月の誕生日会 月2回の音楽療法

【ユニット 2F】

4/7.10.11	お花見ドライブ 市内桜の名所	29名参加
5/23	おやつ作り（プリンアラモード）	全員参加
7/4.24	買い物ツアー（アピタ）（楽市）	4名参加
7/31	スイカ割り大会	全員参加
9/12	買い物ツアー 花の苗など（カインズ）	2名参加
9/16	5丁目花火大会	10名参加
10/15	秋祭り	全員参加
10/17	6丁目コスモス見学、買い物ツアー	3名参加
10/31.11/7.10	赤堀小菊の里見学	23名参加
11/14	5丁目干し柿作り ユニット型文化祭 11/12～26	各ユニット
12/11	おやつ作り（ホットケーキ）	10名参加
1/1	新年会、おしるこ作り	2F1F 合同
1/8	7丁目焼きたてのパンが食べたい	各ユニット
1/15	5丁目お好み焼き作り	各ユニット
1/19	7丁目居酒屋	各ユニット
1/29	7丁目お好み焼き作り	各ユニット
2/16	6丁目もんじゃ焼作り	各ユニット
2/26	5丁目ホットケーキ作り	各ユニット
3/2	ひな祭り、桜もち作り	全員参加
3/12	7丁目お好み焼き、もんじゃ焼、やきそば	各ユニット
3/26	6丁目おはぎ作り	各ユニット

3/30	誕生日者の希望を叶える企画	2名
------	---------------	----

その他 毎月の誕生日会 月2回の音楽療法
 第二、四金曜日 書道教室 土、日曜日 カラオケ

【ユニット 1F】

4/8.15	お花見ドライブ（市民の森）	8名参加
5/28	おやつ作り（お好み焼き）	全員参加
6/25	おやつ作り（じゃがバター）	全員参加
8/23	おやつ作り（かき氷）	全員参加
9/23	敬老会みんなでハーゲンダッツのアイス食べる	全員参加
11/22	おやつ作り（さつまいもディップ） ユニット型文化祭 11/12～26	
1/1	新年会、おしるこ作り	2F1F 合同
2/3	鬼おいだしボーリング大会	全員参加
2/14	バレンタインデー	全員参加

その他 毎月の誕生日会

短期入所生活介護(ショートステイサービス)

1 基本方針 「今」を大切に当たり前の暮らしの実現

2 重点項目

(1) 地域住民に選ばれ、利用者に喜ばれる施設にする

① 受入れ体制の強化

疾患等で受け入れ困難にならないよう、事業者やご家族様から情報収集し、他職種と相談・連携し受け入れ強化した。

※新規利用者 55名

② 緊急ショートの受け入れ

利用者・その家族が緊急時の場合は調整を行い、利用して頂く事ができた。

※緊急利用者 10名

③ 地域福祉に貢献

自事業所利用者にチラシ配布をする事は出来なかった。

(2) 誇りを持てる職場にする

特別養護老人ホームローズヒルに同じ。

(3) 経営基盤の安定化を図る

稼働率 111.9%

3 会議、行事等については特別養護老人ホームローズヒルに同じ。

ケアハウス菜の花

1 ケアハウスは、バリアフリー構造の安心・安全な住環境を提供し、在宅サービスの有効利用をしながら快適な生活をしていただける様取り組むところです。

2 【重点項目】

(1) 地域住民に選ばれ、利用者に喜ばれる施設にする。

- ・オープンガーデン等の機会を利用して沢山の来園者(約 200 名)にケアハウス菜の花を知っていただくことができ、利用者との交流も図れた。
- ・文化祭を開催して家族交流し、他者の作品を見て刺激になっていた。
- ・北千木ふれあいセンターの文化祭に参加し地域の方々との交流が図れた。

(2) 誇りを持てる職場にする。

- ・浴室滑り止めマットの使用によって利用者の安全と清潔を実行できた。
- ・声かけ運動で利用者の行事参加が増えた。

(3) 経営基盤の安定化を図る。

- ・稼働率 97%(年間利用者 174 名)月平均 14.6 名
- ・連携会議や研修会で経営基盤の情報をキャッチし経営に役立てた。
- ・待機者の現状や入退去の原状回復を考え、空室を減らすことができた。

3 基本的サービス提供計画、行事、会議等については計画通り行われた。

- ・デイ合同夏祭りを変更し特養合同秋祭りとなった。

4 非常災害対策及び事故防止対策・苦情解決体制

- ・避難訓練は自主参加だが、大切さを話し参加者を増やすことが出来た。

5 職員の各種研修計画(外部研修・OJT)

- ・事故対策委員会及び感染症対策委員会を随時開催増加
- ・施設内全体研修会の参加をした。

6 地域交流、広報及び実習生・ボランティアの受け入れ

- ・ローズヒル菜の花自然園花木剪定ボランティアや花木苗の提供者があった。
- ・お誕生日会アトラクションにボランティアを呼ぶことが出来た。

7 施設・事業所設備の整備、修繕計画

- ・ローズヒル菜の花自然園で利用者・ご家族・地域の方々が参加し、散策を楽しんでいただいた。

8 その他

- ・天候や利用者の状況に合わせて近郊に出掛け季節を感じてもらう方法で菖蒲園・市民のもり散策を実行した。
- ・行事のマナー化を考え、次年度は新しい計画を予定している。。

別紙 1-1

平成 29 年度 事業計画・施設内研修及び委員会・施設外研修会
 ※委員会は必要に応じ随時開催

月	事業計画	施設内研修及び委員会	施設外研修会
4月	お花見・外食 4/3 4/5 端午節句飾り 懇談会 4/20	感染症対策研修会 4/6	<ul style="list-style-type: none"> ・県老協研修会 ・県行政説明会 ・地域ケアハウス等 情報交換研修会
5月	個別面談 5/16～7/18 オープンガーデン見学会(なし)	感染 5/15 事故防止委員会 5/15	
6月	オープンガーデン 6/10,11 個別面談 懇談会 6/22 菖蒲園見学 6/20	感染症対策研修会 6/15	
7月	七夕飾り 7/4 前期お誕生会 7/13		
8月	合同夏祭り(変更) 懇談会 8/24	事故発生防止研修会 8/9 高齢者虐待防止研修会 8/9 感染症対策委員会 8/23	
9月	敬老会 9/21 消防訓練 9/26	事故防止委員会 9/7 9/15	
10月	特養合同秋祭り 10/1 秋のお出かけ(なし) 懇談会 10/17	感染症対策委員会 10/6	
11月	文化祭 11/26 電化製品点検	感染症対策研修会 11/6	
12月	クリスマスツリー飾り 12/6・クリスマス会 12/24 懇談会 12/14	感染症 12/4 事故防止委員会 12/4	
1月	新年初詣・外食 1/19	事故発生防止研修会 1/9	
2月	後期合同誕生会 2/13 雛祭り飾り 2/9 懇談会 2/22	高齢者虐待防止研修会 2/7	
3月	カラオケボランティア 4/8 消防訓練 3/7 河津桜見学 3/10	感染症委員会 3/6 事故防止委員会 3/6	

茂呂デイサービスセンター

- 1 地域住民に選ばれ、利用者に喜ばれる施設にするために
 - ① 家族交流の機会として、12月10日(日)にクリスマス会開催。
 - ② 「利用者から担当ケアマネにデイの様子を伝えたいというサービス」として、「茂呂でい通信」をカラー化した。実際、ケアマネージャーに伝えた利用者がいた。
 - ③ 地域のミニデイ支援が増えた。今泉1丁目6回。新規で境地区1回、新栄町1回。
- 2 職員が専門職として、誇りを持って働ける職場にするために
 - ① 月例研修については、計画書の書き方の研修で、利用者や家族への伝え方や記録の仕方に少しの向上があったことに気づけた。来年度も継続していく。
 - ② グループワークの充実を図り、針仕事や季節の飾り、お神輿作り等が行えた。
 - ③ シフトの業務分担見直しを行い、利用者にかかわる時間が増えた。

3 経営基盤の安定化を図るために

- ① デイ利用で1ポイント、リハビリ参加で1ポイントとシールを貼るなどして、機能改善の効果を知らせ、デイサービスに休まず通っていただくポイント制導入を計画したが、実現できなかった。欠席の電話をデイサービスにまわしてもらい、利用者と一緒に話し合うことで振り替え利用の提案ができた。
- ② 新規利用者を、20～25名にする目標に対し、新しく34名の方に利用いただけた。利用者1日平均18.5名の目標に対し、1日平均18名。前年度に比べ、支援は減少し、介護が増加の傾向で、全体としては、前年比14%増。

	H28年度	H29年度	前年同期比
要支援 1.2	545	445	82%
要介護 1～5	4175	4977	119%
計	4716	5422	114%

茂呂居宅からの紹介が増えた。週間の利用回数も増加した利用者が増えた。

4 定例会議:計画どおり出来ている。

- ① ミーティング(1日4回) 8:25～ 9:45～ 16:00～ 17:25～
- ② ケース会議(カンファレンス)・職員会議(月2回) 職員会議の参加率は30%から50%に増え、ケース会議が研修の場になり、職員のスキルアップにつながっている。
- ③ ヒヤリハット:5件 事故報告:13件
- ④ デイサービス運営会議(美茂呂デイと合同・月1回・第3木曜日)
交流会や、ミニデイ支援、ヒヤリハット、事故報告等、職場で起きている問題等について情報交換ができた。

5 行事・研修等

行事は、計画どおり行えた。今年度は、お花見等の外出行事や、おやつ作りに参加するのが楽しかったという利用者の声が多かった。
月例研修については、出席率が28年度50%から29年度は70%となった。
外部研修については、安全運転や中堅職員研修Ⅱなど参加7件だった。

美茂呂デイサービスセンター

- 1 地域住民に選ばれ、利用者に喜ばれる施設にするために
 - ① 地域のボランティアへの働きかけを行い、今泉町ひまわり会、東京福祉大の学生ボランティア、傾聴、麻雀のボランティアの方々に来所していただいた。
 - ② 広報活動については、美茂呂だよりをカラー化し、写真数を増やした。結果、利用者や家族、ケアマネージャーから喜びの声をいただいた。
 - ③ 地域のミニデイ支援は、今泉 1 丁目 5 回と新規で新栄町 1 回行った。

- 2 職員が専門職として、誇りを持って働ける職場にするために
 - ① 職員会議での意見を出しやすくし、電話対応など業務改善を積極的に行った。
 - ② 月例研修については、参加率 90% で、職員が講師を務める等、自主的に学ぶ姿勢がみられた。

- 3 経営基盤の安定化を図るために
 - ① 利用者 1 日平均 20 名の目標に対し、1 日 21 名。
今年度から、午後のみ利用の方や短時間利用の方を受け入れることで、ニーズに合わせた対応ができた。
前年度に比べ、支援が 2 倍、介護が 5% 増、全体としては、前年比 10% 増。

	H28 年度	H29 年度	前年同期比
要支援 1.2	343	642	187%
要介護 1~5	5434	5749	105%
計	5777	6391	110%
 - ② 利用時間を少しずつ伸ばしたり・週間の利用回数も増えている。
 - ③ 体制強化加算 I の口が取れている。(職員 8 名内介護福祉士 4 名)

- 4 定例会議
 - ① ミーティング(1日 4 回) 8:25~ 9:45~ 16:20~ 17:20~
 - ② ケース会議(カンファレンス)・職員会議(月 2 回) 会議の時間短縮に努めた。
 - ③ ヒヤリハット:4 件 事故報告:12 件
 - ④ デイサービス運営会議(茂呂デイと合同・月 1 回・第 3 木曜日)
交流会やミニデイ支援、ヒヤリハットや事故報告等、職場で起きている問題などの情報交換を行った。

- 5 行事研修等
行事は計画どおり行えた。
おやつ作りでは、利用者が中心になって、神社コロッケやうどん打ちを行った事で、利用者の意欲を引き出せ、自宅で味噌汁を作る利用者もみられた。来年度も引き続き行っていきたいと考えている。
「アコーディオンで一緒に歌おう」の月 1 回開催が定着し、利用者楽しく歌っていただけた。
月例研修で、おおぎだ全体の研修に参加できた。
外部研修は、安全運転や中堅職員研修 I、チームリーダー研修等 9 件だった。

茂呂ヘルプサービスセンター

地域住民、利用者に喜ばれる施設にする。

各居宅支援事業所との連携は出来たが、直接訪問することは出来なかった。
自立して生活が送れるよう生活全般の援助が出来た。

誇りを持てる職場にする。

ヘルパー会議等でサービス提供に対する信頼を築くことを学んだが、全体の認識が不十分の部分あった。

経営基盤の安定化を図る。

目標 600 時間に対し 486 時間の結果だった。
登録ヘルパーが1名の減となったことと、新しい居宅事業所への訪問が出来なかった。
H30 年 4 月より1名の増員となる為、目標時間数の確保に繋げる。
情報発信が出来なかったので、「空き情報」を実績配布時やホームページ等で伝える。

1 利用者状況

(1) 利用時間

- ・サービス提供時間 月平均 実績 = 486 時間 (目標 = 600 時間)
- ・前年度との比較

年度月平均	利用時間
平成 28 年	521 時間
平成 29 年	486 時間

(2) 利用者数

- ・ 合計 41 人(前年度 44 人)

H30.3.31 現在

要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5
5	7	9	9	9	2	0

(人)

(3) 新規利用

- ・ 合計 13 人 要支援 5 人 要介護 8 人
(前年度 7 人 要支援 2 人 要介護 5 人)
- *当施設内居宅事業所からの紹介により昨年度より 4 名増となる。

(4) 時間追加希望

- ・ 3 人 (前年度 3 人)

2 職員研修

(1) 施設内研修

- ・食中毒と感染症 6 月 (7 人参加) ・中長期説明会(7 人参加)
- ・認知症研修会 7 月 (7 人参加)
- ・高齢者虐待について 8 月 (7 人参加)

(2) 施設外研修

- ・移送サービス運転協力講習会 5 月 (2 人資格取得)

(3) ヘルパー会議 毎月 12 回開催

茂呂居宅介護支援事業所

1 基本方針 サービス提供目標

(1) 基本方針および目標

社会福祉法人おおぎだの運営理念である「共生」に基づき、利用者とその家族に寄り添い、自宅での生活を計画的・総合的に支援を行う計画を作成することができていた。

(2) サービス提供目標

29年度目標 ケアマネージャー 1人 月平均37件を目標としていたが、29年3月末実績は、1人平均30.5件と及ばなかった。現担当の利用者の入院・他界が多かった為と思われる。

新規利用者に関しては、地域包括支援センターからの紹介や近隣病院からの紹介等も数件含まれており、今後も継続的な営業活動を続けていく必要がある。

2 当期における重点項目

(1) 地域住民に選ばれ、利用者に喜ばれる施設にする

①地域ミニデイへの講師派遣(北千木ミニデイ 5回/年)

特別相談日の対応(2回/月)

ロビーコンサートの開催(1回/月)

地域民生委員年始式説明参加・地域民生委員施設見学と研修対応

②自事業所・他事業所の特徴を詳しく説明し、利用者とその家族の希望に沿ったバランスの良いサービスを提供することができていた。

(2) 誇りを持てる職場にする

①伊勢崎市主催 介護支援専門員研修 年間6回受講

伊勢崎市主催 医療介護連携調整ケアマネ会議 年間3回出席

施設内合同研修 年間5回出席

②定期的な居宅会議の開催を通じて、職員間の情報の共有化や相談の出来る環境を作り、それぞれの職員が担当しているケースを多角的に検討する事ができた。

(3) 経営基盤の安定化

①市からの要介護認定調査受託件数 伊勢崎市:151件 太田市:6件

滞りや大きなトラブルなく受託・調査を進める事ができた。

②新規利用者数 36件

地域包括支援センターからの困難事例依頼も受ける事ができており、今後に繋げていければと思っている。

③特定事業所集中減算に関しては、法改正ともつながる部分があるので解消できる方向を引き続き検討予定。現在算定されているショートステイに対する減算は、平成30年4月の法改正により解消となる。

厨房部門

1 行事

- (1) 行事食(月 1 回 全 12 回実施)、
- (2) セレクト食(月 1 回 全 12 回実施)
- (3) 郷土料理(月 1 回 全 12 回実施)
- (4) ふるさと味めぐり(月 1 回 全 12 回実施)
 - ① 各部署の行事計画に沿ったサービスの提供
(おやつ作り、お誕生日会、秋祭り、かき氷作り など)
 - ② 毎月 1 日の昼食はお赤飯提供
 - ③ 月に 1 回日曜日の昼食は特養にパン提供
 - ④ 毎週日曜日の昼食はケアハウスにパン提供
 - ⑤ 毎週日曜日のおやつは特養に数種類提出

2 定例事業

- (1) 給食サービス委員会(月 1 回、全 12 回)
- (2) 嗜好調査(11 月)
- (3) 市場調査(6 月、9 月、12 月、3 月)
- (4) 残食調査(毎食後)、評価・報告(6 月、9 月、12 月、3 月)
- (5) 備蓄食品点検(9 月)
- (6) 給食施設実施状況報告(12 月)

3 日常事業

- (1) 栄養ケアマネジメントによる個々の栄養管理
(入所者の身体状況管理、喫食量の把握、嗜好調査、栄養ケア計画・評価など)
- (2) 栄養帳票・衛生帳票の管理
- (3) 厨房職員への衛生指導(衛生勉強会 全 12 回等)

4 職員研修会

- (1) 安全衛生委員会
 - ・「食中毒と感染予防」(6 月全 2 回 1 名)
- (2) グリーンハウスグループ
 - ・刺身衛生講習会(8 月 3 名)
 - ・食品衛生責任者講習会(3 月 2 名)
- (3) 伊勢崎保健福祉事務所
 - ・給食関係者研修会(9 月 1 名)